

本学の体制			学修成果	
少人数制クラスについて	アドバイザー教員について	ピアサポーターについて(＊)	リーダーシップについて	フォロアーシップについて
先生が名前を覚えてくれるので、安心感がある。	相談をすることのできる相手(高校時代と同じ担任の先生のような存在)がいるという安心感がある。	お互いの良い所を見つけられる。	高校までと違い、先生が干渉せず、自分たちだけですることが増えるため、大学生は大人だと認識していいと思う。そんな環境なので、リーダーシップのある人がとても輝いている！	サークルの副部長として部長を補佐する経験から、支えることを学びました。
少人数で授業をすることで、先生方が学生一人ひとりに目を向ける時間が増え、細かいアドバイスやサポートしてくれる。	履修、就職について親身に相談にのってくれるので、安心して大学生活が送れる。不安を取り除ける。	ピアサポーター主催のびあ祭がとても楽しかった。	リーダーシップとは、皆の上に立って引っ張ることだけではなくと学びました。皆と対等にありつつ全体に気を配り、組織を円滑にすることが私なりのリーダーシップのスタンスです！	サークルに入ってから他大学、他学年、他学科の人と様々な人と関わることの楽しさを知りました。
少人数だからみんなと仲良くなれる。	学校生活についてたくさん支えてくれる。	自分を高めることができる存在なのでとてもありがたい。	委員会活動などでこれから培っていきたい。	サークルに入って一致団結し、一つの目標に進むことの素晴らしさを実感した。
少人数であるからこそ、より密に関わり合うことができる！特に1年次のクラスでは、大学生活をより充実したものにしてくれる友人を得ることができると思う！	特に入学したての頃は分からないことを誰に聞いたらいかが分からないので、とりあえず最初に相談できる先生がいるのは心強い。	「びあ祭」の場で留学について語った先輩。半年以上経った今では、それぞれの次の留学に向けた準備と一緒に進めています。心強さも楽しさも増して、大変ありがたいです。	グループワークでリーダーになった時に発揮できたリーダーシップは私の長所である。これを活かして次のステップに進みたい！	アルバイト先でバイトリーダーに付いていくだけでなく、自分も一緒になって行動し、他の仲間を見ることの大切さを知りました。
先生の指導が全員に行き届く。	人生のアドバイスをしてくれる。	学生同士で助け合うことができ、自分自身も成長できる。	サークルの副部長として、イベントを企画し実行した経験は自分の強みになったと思う。	授業や課題等で困ったときには、互いに相談し、支え合うことができる仲間が、清心にはたくさんいる！
先生や仲間との距離が近くて、学び合うことの楽しさを実感できる！	困ったときの相談先。何かあったときに頼れる先生がいるのは心強い。アドバイザーの先生に相談すれば大丈夫！	周りの刺激を受けながら自分を高めることができる。	ゼミ、ボランティア、キャンパスナビゲーターなどの活動で、リーダーシップの力が身に付いた。	同じ大学、同じ学科、同じ授業内にいる学生でも人それぞれ個性豊かです。清心でお互いに支え合い、高め合うからこそ、乗り越えられた経験は一生の宝物です！
意見を言いやすく、発表もしやすい。	教員との距離が近く相談しやすい。親身になって話を聞いてくれる。	*ピアサポーターとはー ピアとは「仲間」。 ピアサポートは、一般に「同じような立場の人によるサポート」といった意味。 本学では仲間同士の学び合い、支え合いを大事にしています。	本学は積極的にやりたいことに挑戦する手助けをしてくれるので、リーダーシップが自ずと身に付く。	グループワークにおいて、場の雰囲気悪くしないためにもフォローをすることは大切だと感じた。
一人ひとりの発言機会が増えることにより、話が深まる。	教員と1対1で話すことができるので、仲良くなることもでき、勉強や将来について相談しやすくなる。		キャンパスナビゲーターとして受験生や保護者に本学の魅力を伝えることでリーダーシップをとれたと思う！	ボランティア活動やキャンパスナビゲーターの活動で、お互いに助け合う大切さを実感した。
あまり話したことのない人とも話せるようになり、授業でわからないところがあった時や困った時に助け合える友人が増える。	アドバイザーの教授は、授業についてだけでなく、私たち学生一人ひとりの将来のキャリアについて親身になってくれます。いつも信頼して成長の機会を与えてくださり、背中を押し続けてくれる教授に出会えてよかったです。大変感謝しています。		主張するだけではなく、全体の意見を聞きながら他の人が話しやすいように展開していくことができる。	相手の気持ちを考えて「どうして～かな?」「～ならこの距離感でフォローしようかな」とその背景を考えて関わっている。
先生に質問しやすく、細かなところまでディスカッションできる。	教員と面談して相談に乗っていただくことで、解決に繋がったり、新しい考え方や行動に移すことができる。		論文を書き、発表をする授業では自らリーダーとなり、方針を立てたり本筋から外れないように導いた。	
ネイティブの教授との距離が近く、英語での雑談の中で様々な価値観に触れたり、新しい興味を見つけたりすることができる。			●写真： 6月オープンキャンパス 2022.6.19 オープンキャンパスでは、毎回青いポロシャツを着たキャンパスナビゲーターが高校生たちを出迎え、学内を案内します。 	
全員がクラスの主人公！				
仲のいい人ばかり話すのではなく、あまり知らない人と話せて、人間関係が広がる。				
人数が少ない分、クラスで協力する必要がある！仲も深まる！他の授業でも分からないところがあれば少人数クラスでできた友達に気軽に聞くことができる。				
授業のペースが良い。				
学食↓ 				

私たちの大学，ノートルダム清心女子大学

—未来の後輩に贈りたい，在学生の'なま'の声—

No.2

縦のつながり	本学の取組		受験生に向けて一言
OG(先輩)について	世界的課題への取組について	地域課題への取組について	
さまざまな経験を積んだ先輩たちの姿を見るたびに、「私も、もっと頑張らないと!」と思います! いい刺激を与えてくれる。	ボランティア実践の授業を通じて、ボランティアに対する思いやボランティアをする事の大切さを学ぶことができました。	ボランティア実践では、実際にボランティア活動を行ったり、献血に協力したりする活動があります。	岡山駅近くという好立地ですが、学校内には緑がたくさんあって、暖かい雰囲気なところが私のお気に入りです!
清心の先輩方は、優しい。入学オリエンテーションの時、大学生活において分からないことがたくさんあり、混乱していた時、先輩方は私の疑問に丁寧に答えてくれて、大学生活への不安が解消された。	英語英文学科の「模擬国連」の授業では、国際会議(模擬国連大会)に、一国の大使になりさって出席します。膨大なリサーチ能力、論理的思考力、英語での発言力、リーダーシップ能力などが身に付くとともに、世界の見方が変わります。	本学の「地域連携・SDGs推進センター」を通して、授業での学びを地域に還元する仕組みがあります。挑戦し続ける機会を与えてくださる環境があるため、自分次第でできることは無限大です!	清心は、自分らしく生活できる大学です! 先生方や先輩方など、多くの方々が不安や悩み、疑問に寄り添ってくださり、安心して大学生活を送ることができます! みなさんも清心に入学して、大学生活を送ってみませんか?
アカデミック・ドレスを着ていた憧れの先輩になれるように私もなりたい。	池上彰さんが本学にいらした時に聞いた講義が忘れられません。世界で行き交う情報のことをもっと知りたいと思いました。	お米を作っていることに驚きました! いつか私も食べたいです!	自分にしかない強みを活かすことができる環境で毎日充実した日々を過ごせています!
模擬国連クラスで出会った英語英文学科の先輩は、挑戦し続けることの大切さを教えてくれました。勉強面だけでなく、精神的なサポートまでしてくれて、私たち後輩にとっては尊敬と憧れそのものです。学年を超えた縦の繋がりが強いことも、英語英文学科の大きな魅力です。	模擬国連の活動や、キリスト教学VII(本学の設立母体である、ナミュール・ノートルダム修道女会のシスターの方々から、設立者である聖ジュリー・ビリアートの「愛と奉仕」の精神や、グローバル問題についての講義を聴く)を通して、世界には自分が未だ知らない問題が数多く存在しており、問題解決のための最初のステップとして、それらの問題について「知る」ということがとても重要だなどというように感じています。	全学共通科目の一つである、「ディスカッションから社会を考える」では、多様な大学の先生方による講義を受けることによって、SDGsについての知識を深めることができました。SDGsは世界的課題であるというイメージがありますが、よく考えてみると、岡山にもSDGsの考え方に則って解決しなければならないことが多くあるように思います。	清心は、「学びたい!」という想いがあれば、どんな人でも温かく受け入れてくれる大学です。大学で学ぶことに對してサポートが必要な人でも大丈夫です! 実際、私も多くの人のサポートを受けながら、キャンパスライフを送っています。一人でも多くのおみなさんが、この清心に入学してきてくれるのを心から楽しみにしています!!
高校生の時に参加したオープンキャンパスで出会った先輩を見てキャンパスナビゲーターをしようと思った。	本学の社会学の授業を受けることで、今まで気付かなかった社会的課題が見えてきます。	「高粱紅茶」は地域問題を解決するだけでなく、美味しく大好きです。	女子大ならではの良い点がたくさんあって、友達もできやすいです! 楽しいです!
大学のテストや先生、就活のことなどを相談できるいちばん身近な存在。とてもありがたい。	本学の「ディスカッションから社会を考える」の授業を通じて、SDGsの目標達成の緊迫性を実感するとともに、自分たちの行動が世界を、社会を変える第一歩になることを知ることができた。	高粱市の荒廃した茶畑を再生することで、地域の活性化にも繋がっている「高粱紅茶」のプロジェクトは、現代社会学科と食品栄養学科がタッグを組んで取り組んでいる本学自慢のプロジェクトです! 高橋紅茶は食事にも合う、とっても美味しい紅茶なので、ぜひ飲んでみてください!	清心は学生が皆のびのびしていて、居心地のいい学校です。来年の春、皆さんに合えることを楽しみにしています!!
高校生の時に参加したオープンキャンパスにいた先輩たちは、優しく、人のために率先して動ける人だった。	人間論の授業で、命の尊さや存在の大切さを学べた。	高粱紅茶の茶摘みに参加した際に、農業の課題についても考えることができました。	本当に大切なことを学べる。とても楽しい。来てよかったと思える大学です。
優しく声をかけてくれて頼りになる先輩ばかりで、私の目標でもある。	「女性学」の授業を通じて、ジェンダーについての理解が深まり、問題意識を持つようになった。	人間生活学科のゼミで行っている「奉還町の活性化」は、地域の魅力を発見し、発信する取組をしている。7・8月には夜市でフルーツ飴のお店を出していた。自ら考え、仲間と協力して行動する力が身に付く。	自ら考える力や、周囲の人と協力する力など、社会に出たら役立つ力が身に付く大学だと思います。
子どもとの関わりかたについて一緒に考えて助言してくれるので、非常に尊敬している。	本学のキリスト教の授業を通じて、世界的に生や死をどのように考えているのかを学び、自分で考えていくことができました。	少子高齢化だけではない、地域課題が多くあることを本学に入学してから知りました。そして課題解決に直接関わらなくても、自分にも協力できるプロジェクトを本学が行っていることも知ることができました。是非皆さんも本学が行っている地域課題解決プロジェクトを見てみてください!	自分が追究したい学びをするための資料が揃っています。また、先生も手厚くサポートしてくださいます。ボランティアで実践を沢山積むこともできるため、人的環境と物的環境が整っているため充実した学校生活を送ることができます。
分からないことなど、些細なことを聞いても笑顔で教えてくれるので、相談や質問がとてもしやすい。	ニュースで見ただけでは学べないことを、本学の教養科目の授業を通して多く学ぶことができました。	環境デザイン学の先生が古民家を再活用する取組を行っていました。	女性だけ、また少人数と言うことでとてもきめ細かな対応をしてもらえるところが魅力です! やってみたいことはなんでもできる、そんな夢の溢れる大学です。
サタデーキャンパスに参加した時には、廊下ですれ違った先輩に挨拶すると笑顔で返してくれた。	本学の人間論の授業を通して、自分らしい生き方を考えることができた。	本学の建物をブルーライトアップし、自閉症の啓発活動を行なっていることは地域課題の解決目的としての取組だと思います。	毎日新しい友達ができる所が清心の魅力です!
どんどん新しいことに挑戦していく先輩方を見ていると自分も頑張ろうと思う。	模擬国連にボランティアとして参加したことで、世界遺産の危機について学ぶことができました。	清心は「晴々ロマン」のプロジェクトなど、地域と密着したプロジェクトを行っています。	清心は面倒見がよく、安心して色々なことにチャレンジできる大学です!
美しく逞しく信頼ある理想の先輩です。	人間論の中の授業でSDGsの観点から世界問題について知ることができる。	地域でインクルーシブな教育を展開していくために、インクルーシブ講演会などに参加して学びを深めています。	楽しい、面白いが溢れた清心で、楽しい大学生活が送れるのは間違いなしです!
1年次のオリエンテーションで出会った先輩は、とても優しく履修相談など親身になってくれた。私もあんな先輩になりたい。	本学のキリスト教学の授業を通して、社会問題や世界でどんなことが行われているのか知るきっかけになりました。	男女共同参画社会を目指す「さんかくウィーク」で、どんな人でも輝く社会をつくるための活動に参加しました。他学科や地域の方々と協力してプロジェクトに取り組みます。自分たちのアイデアで地域の発展に貢献することができます!	清心は外から見るとお嬢様で大人で気品だかい女性のイメージがありますが、ボーイッシュでかっこいいキャリアウーマンのような方も沢山います!

●写真:模擬国連 2022.6.24

本学の学生も一国の大使として英語で議論や交渉をおこないました。

